

# 創業計画書（事業計画書）

# 〔記入例〕

お名前

作成年月日：平成 年 月 日

- ・ この書類は、ご面談にかかる時間を短縮させるために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどお願いいたします。
- ・ なお、本書類はお返しできませんので、ご了承ください。
- ・ この書類に代えて、お客様ご自身が作成された計画書を提出いただいても結構です。

## 1 創業の動機・事業の経験等

(1) 今回創業予定の業種	ソフトウェア開発業	(2) 創業(予定)時期	平成 〇年 〇月
(3) 創業されるのは、どのような目的、動機からですか？	・勤務時代にソフトウェアの企画開発・製作・販売・運用・管理に一貫して携っていた経験がいかしたい。 ・元勤務先などからの支援もあり、事業の見通しが立ったため。		
(4) 過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあるが、その事業をやめている。⇒やめた時期 年 月頃		
(5) 本事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	お勤めの期間	お勤め先(業種等)	
	〇年〇月～〇年〇月	〇〇工科学院卒	
	〇年〇月～〇年〇月	(株)〇〇システムズ(ソフトウェア開発業)7年勤務	
	〇年〇月～年 月	〇〇テータ(株)(ソフトウェア開発業)12年勤務 (医療関連事業部プロジェクトリーダーを務める)	
	〇年〇月～年 月	退職(退職金200万円)	
	現在	創業準備中 ( )	
(6) 取得されている資格等	(有) (ソフトウェア開発技術資格 平成〇年〇月取得 ) ・特になし		

## 2 取扱商品・サービス

(1) お取り扱いの商品、サービスを具体的にお書きください。	① 介護施設・医療施設用の顧客・財務管理システム開発 (売上シェア 80%) (300万円～1,000万円/件 開発期間3ヶ月～半年ほど)
	② 医療関連機器のファームウェア開発 (売上シェア 20%) (〇〇テータ(株)からの業務請負 平成〇年〇月〇日契約締結済(契約期間 平成〇年〇月〇日～))
(2) セールスポイントは何ですか。	・介護・医療関連のシステム開発の知識を活かし、システム開発の提供だけでなく、運用に関するコンサルティングも行なう。

## 3 取引先・取引条件

	取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件		取引先名(所在地)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	① 〇〇テータ(株)(〇〇市) (元勤務先)	70%	100%	月末日戻 翌末日回収	仕入先	①			日戻 日支払
	② 医療法人〇〇会(〇〇市) (元勤務先の販売先)	30%	100%	月末日戻 翌末日回収		②			日戻 日支払
	③	%	%	日戻 日回収		③			日戻 日支払
	④	%	%	日戻 日回収		④			日戻 日支払
外注先	① 〇〇ソフト(株)(〇〇市) (元勤務先の外注先)	%	%	月末日戻 翌々25日支払					
	② (株)△△テータ(〇〇市) (元勤務先の外注先)	%	%	月末日戻 翌々25日支払					

従業員等	常勤役員の人数(法人の方のみ)	2人	人件費支払	給与	ボーナス
	従業員数(うち家族従業員)	1人(0人)		末日戻	支給月
	パート・アルバイト	0人		翌25日支払	6月・12月

4 今回事業に必要な資金と調達の方法

今回事業に必要な資金の内訳		金額(千円)	必要資金の調達の内訳		金額(千円)
設備資金 (見積書等添付必要)	店舗、機械、車、備品、家賃(敷金のみ)等が対象です。		自己資金(1)		5,500 千円
	(内訳)	6,900 千円	親、兄弟、知人、友人等からの借入(2)		
	・パソコン・サーバー等一式(〇〇社見積のとおり)	5,000 千円	借入先 返済方法		
	・事務機器(〇〇社見積のとおり)	700 千円	沖縄公庫からの借入(3)		#### 千円
	・備品類(〇〇社見積のとおり)	200 千円	元金70千円×86回(年〇.〇%)		
	・保証金	1,000 千円	他の金融機関等からの借入(4)		#### 千円
設備資金の小計(1)		6,900 千円	借入先 返済方法		
運転資金	商品仕入、家賃、人件費等が対象です。		〇〇銀行		
	(内訳)	8,600 千円	元金60千円×84回(年〇.〇%)		
	・外注費支払	2,700 千円			
	・諸経費支払	5,900 千円			
	(システム開発に最短でも3ヶ月かかるため、つなぎ資金が必要)				
運転資金の小計(2)		8,600 千円			
必要額の合計(3) = (1) + (2)		#### 千円	調達額の合計(5) = (1) + (2) + (3) + (4)		15,500 千円

合致します

5 事業の見通し(月平均)

単位: 千円

	創業当初	軌道に乗った頃 (年 月 頃)	売上高、売上原価、営業費を計算した根拠を記入ください。
(1) 売上高	3,000 千円	3,900 千円	<創業当初> ①売上高 3,000千円/件×1件=3,000千円(受注契約書あり)
①			
②			
③			
④			
⑤			
(2) 売上原価(仕入高)	900 千円	1,170 千円	②原価率(外注費)30%(勤務時の経験から)
①			
②			
③			
④			
⑤			
(3) 売上総利益 (3) = (1) - (2)	2,100 千円	2,730 千円	③人件費 代表者1人、役員1人、従業員1人 (代)450千円+(役)300千円+(従)250千円=1,000千円 家賃 200千円
(4) 営業費			支払い利息(内訳) 5,000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=〇万円 5,000千円×年〇.〇%÷12ヵ月=〇万円 計 30千円 その他光熱費、消耗品等 750千円
① 人件費	1,000 千円	1,400 千円	
② 地代家賃	200 千円	200 千円	
③ 支払利息	30 千円	30 千円	
④ その他経費	750 千円	950 千円	
・			
・			
・			
・			
・			
合計	1,980 千円	2,580 千円	<軌道に乗った後> ①創業時の1.3倍は可能(勤務時の経験から) ②当初の原価率を採用 ③人件費 従業員1人増、役員報酬・従業員給与増額 計400千円増 その他諸経費 200千円増
(5) 差引利益 (5) = (3) - (4)	120 千円	150 千円	← 事業主分(会社組織の代表者等除く)の人件費と借入金返済元金はここから支払われます。

※ 他に参考となる資料がありましたら、計画書に添えてご提出ください。